

DSO会長就任のご挨拶

私は、昨年4月より物質・材料研究機構の理事を務めております。もともと、旧科学技術庁（現文部科学省）に行政官として就職し、約25年間霞が関で、もっぱら科学技術行政に携わってきました。そしてこれまで幸運にも、女性であることをハンディに思ったことは一度もありませんでした。かえって、以前は女性が少数派なので、大勢の集まりの中で覚えてもらいやすく、得をする場面のほうが多いくらいですね。今では文部科学省で総合職の新規採用職員のうち4割が女性ですから、全く少数派ではなくなりましたが。



文部科学省が男女共同参画の観点で大変先進的だった、と言えるのは、2001年の「かすみがせき保育室」オープンです。文字通り、霞が関の役所の建物のなかに保育室が設けられ、文部科学省の職員を初め近隣の省庁等の方のお子さんも預けられています。当時、法人内保育室のさきがけで、マスコミでの報道も多く、新聞やテレビで特集されるほどでした。何を隠そう、私自身その時育休明けで、我が子が「かすみがせき保育室一期生」となり、広告塔になることを甘んじて受け入れていたのは、今ではいい思い出です。また、この保育室が発端で、他省庁の事業所内保育所開設の動きが加速され、また衆議院議員会館にも2010年に開設されたのだと思います。

3年ほど前、某大学主催のシンポジウムで「女性研究者の活躍促進」と銘打ったパネルディスカッションに、登壇いたしました。他のパネリストは、東大名誉教授の黒田玲子先生と、元宇宙飛行士の向井千秋先生と、そうそうたる顔ぶれでした。さしずめ、私は行政実務者代表、ということでしょうか。そこで申し上げたこと、鮮明におぼえていますのは「企業や大学、学会など、どちらを訪問しても、テーブルの向こうの幹部の方々は皆さんスーツ姿の男性たちばかり。早く、男性だけでなく女性とテーブルをはさむ日が訪れるのを心待ちにしています」。

うんざりするくらい、これは真実でした。この20年来、どちらを訪ねても、幹部に女性が就いていることはほとんどなかったものです。

ですが、この2、3年で状況が一変しました。2013年6月決定の「日本再興戦略」では、成長戦略の柱のひとつに「女性の活用」があり、「社会のあらゆる分野で2020年までに指導的地位に女性が占める割合を30%以上」という目標が掲げられました。政府が経済界に対して「全上場企業で積極的に役員・管理職に女性を登用、まずは役員に一人は女性を登用」することを要請したのを受け、企業でもこぞって女性が登用されてきています。

それでも、「紅一点」では足りないはずです。私が現在役員を務めています物質・材料研究機構では、役員は、私を含めて女性は2人です。「多様性; DIVERSITY」のためには、それぞれの特性が複数存在しないといけませんね。

長い自己紹介をさせていただきながら、男女共同参画がらみの経験を述べてみました。これから、会員の皆さまと、DIVERSITYを求め、楽しみ、学んでいきたいと思います。どうぞよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

DSO 会長

物質・材料研究機構 理事 長野裕子



DSO事務局の活動報告

平成29年度総会・第1回懇話会&交流会

平成29年9月7日、国立研究開発法人物質・材料研究機構にて、平成29年度DSO総会・懇話会を開催しました。

総会には11機関の代表者や担当者の方々にご出席いただき、平成28年度の活動報告と平成29年度の活動計画（案）が承認されました。また、「つくば女性研究者支援協議会とダイバーシティ・サポート・オフィスとの連携に関する協定書」に関して、協定期間の延長については毎年度のDSO総会において協議・確認することが承認され、次年度総会までの期間延長も承認されました。新会長には物質・材料研究機構の長野裕子理事が選出されました。



続く懇話会では、以下の三つのテーマで参加の各機関から取組の説明がありました。

テーマⅠ「産休・育休明けの支援制度」（11機関から制度説明）

テーマⅡ「テレワーク・在宅勤務制度」（4機関から制度説明）

テーマⅢ「LGBT等のセクシャル・マイノリティに対する取組」

テーマⅠの産休・育児の支援制度については多くの機関が既に導入しており、どの機関においても雇用支援は利用者に好評で、制度として根付いていることがわかりました。それに対して、テーマⅡの在宅勤務制度については、まだ取組をはじめている機関が少なく、さらに取組を開始してからの歴史が浅い機関がほとんどでした。どの機関も勤務地は自宅に限られ、取得可能日数は週1日程度、さらに、つくば市近郊に限る、育児休業を取得した職員に限る、子どもの保育施設への預けを義務づけるなど、その取得に機関ごとの制限を設けていました。制度を運用しながら、各機関や利用者の実情にあうようにどのような改善を進めるかが今後の課題となりそうです。

テーマⅢでは、筑波大学の河野氏から筑波大学のセクシャル・マイノリティ支援への取組が紹介されました。LGBTについては、大勢の学生を抱える大学が積極的に取組を進めていることがよくわかりました。

その後の交流会では、それぞれの機関の更なる取組みや運用上の悩み等、担当者間で活発な議論が交わされました。



DSO参加機関 公開イベントのご案内

■筑波大学■



ダイバーシティ Awareness Week 2017

【日時】平成29年10月2日～6日

【場所】筑波大学筑波キャンパス中央図書館前 石の広場ほか

【申込方法】ポスターにある各イベントの詳細を参照ください

【開催機関】筑波大学

【関連情報】<http://dac.tsukuba.ac.jp/>

【問合先】筑波大学学生部就職課

(029-853-4584)

【対象】DSO参加機関以外も対象



Diversity シネマ&トーク「ハーフ HAFU」

in ダイバーシティ Awareness Week 2017

【日時】平成29年10月5日(木) 17時30分～19時40分

【場所】Biviつくば2F筑波大学サテライトオフィス/
つくば総合インフォメーションセンター

【申込方法】当日参加も可能です。人数把握のため事前
の登録をお願いしています。

<https://goo.gl/XHyeov>

【開催機関】筑波大学

【関連情報】<http://diversity.tsukuba.ac.jp/?p=14482>

【問合先】筑波大学DACセンター ダイバーシティ部門

(029-853-6418)

【対象】DSO参加機関以外も対象





■ 筑波大学 ■



セクシュアル・マイノリティ写真展「OUT IN JAPAN@筑波大学」 in ダイバーシティ Awareness Week 2017

- 【日時】平成29年10月6日（金）10時～17時
- 【場所】筑波大学筑波キャンパス第三エリア食堂となりのラウンジ
- 【申込方法】登録等は不要です
- 【開催機関】筑波大学
- 【関連情報】<http://dac.tsukuba.ac.jp/?p=172>
- 【問合先】筑波大学DACセンター ダイバーシティ部門（029-853-6131）
- 【対象】DSO参加機関以外も対象



■ 森林総合研究所 ■

森林総合研究所 第24回エンカレッジ推進セミナー

“みんなで考えるメンタルヘルスのセルフケア”

- 【日時】平成29年10月3日（火）13時15分～15時
- 【講師】奈良間 英樹氏（株式会社Social Vitamin代表取締役）
- 【場所】森林総合研究所大会議室
- 【問合先】森林総合研究所ダイバーシティ推進室
e-mail: geneq@ffpri.affrc.go.jp
- 【対象】DSO参加機関のみ対象





■ 国際農林水産業研究センター(JIRCAS) ■

JIRCAS国際シンポジウム

「国際農業・食料・栄養研究における女性研究者の活躍推進」

【日時】平成29年11月2日(木) 10時～14時45分(受付開始 9時30分)

【講師】基調講演

世界の食料安全保障のために、何故さらなる女性研究者の力が必要なのか

Ismahane Elouafi (国際塩水農業センター/ICBA)

栄養強化作物の開発による健康な食生活の実現

Howarth Bouis (国際食料政策研究所/IFPRI)

次世代の健康と地域の発展のための女性の栄養の重要性

須藤紀子 (お茶の水女子大学)

【場所】国連大学ウ・タント国際会議場 (東京都渋谷区神宮前5-53-70、最寄り駅「表参道」)

【申込方法】URL : https://pursue.dc.affrc.go.jp/form/fm/jircas/intl_symp2017

申込締切 : 2017年10月27日(金)17:00

【開催機関】国立研究開発法人国際農林水産業研究センター

【関連情報】URL : https://www.jircas.go.jp/ja/event/2017/intl_symp

【問合先】国立研究開発法人国際農林水産業研究センター企画連携部情報広報室

電話 : 029-838-6708

【対象】DSO参加機関以外も対象




DSO参画機関が関係するイベント

茨城県 理工系女子応援シンポジウム

【日時】平成29年10月14日（土）14時～17時

【場所】つくば国際会議場(中ホール300/多目的室)

【協賛】JAXA、産総研、森林総研、農研機構、土研、
筑波大学、NIMS他

【問合先】茨城県企画部科学技術振興課（担当：石川）

E-mail: kikaku10@pref.ibaraki.lg.jp

URL: <http://www.rikejo-ibaraki.jp/>

【対象】中学生・高校生とその父兄及び教育関係者



事務局より

次回の総会まで物質・材料研究機構（NIMS）が事務局を務めさせていただくこととなりました。このNEWS LETTERでは、各参加機関の様々な取組をご紹介させていただきながら、ダイバーシティ推進のための情報の共有を図ってまいります。イベントのご紹介、お気づきの点等、何でもお気軽にお知らせください。これから一年間、拙いながらも頑張ってまいりますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

ダイバーシティサポートオフィスのご案内

ダイバーシティ・サポート・オフィス（DSO）は、研究教育18機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画を連携して推進しています。参加機関相互のイベント等の機会提供、情報交換を行っています。当初は、科学技術振興調整費の支援を受けてスタートしましたが、現在はイコールパートナーシップでメンバーが対等に運営する、より開かれたDSOとして活動しています。

*DSOメンバー：産業技術総合研究所、森林総合研究所、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学（加入順）

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれの機関で働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして発行しております。当Letterの紹介も歓迎いたします。